

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	5
事業名	ごみ減量・再資源化事業費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-1 循環型社会の形成				
主要施策	①ごみ収集・処理体制の充実		②ごみ減量化の啓発と推進		
	③3R運動の促進				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。
事業内容	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。 家庭から排出される資源ごみ〔缶・びん・新聞・雑誌・段ボール・雑紙・飲料用紙パック・ペットボトル・布・食用油・小型家電〕を委託業者により分別収集し、各品目ごとに再生利用先へ搬入し処理を行っている。町内の各団体が収集した資源ごみ（紙・布）について、1kgあたり6円の補助金を交付している。 ごみの減量・分別・リサイクルへの啓発を目指し、生ごみ処理機やコンポストの購入者に対し購入補助金を交付している。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	資源ごみ収集量 (町収集分)	677	668	680	t		570
2	資源ごみ収集団体育成補助金	392	400	369	件		360	
3	生ごみ堆肥化容器等補助金	13	13	20	件		36	
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B					23,182	31,273	32,338	
財源内訳	直接事業費 A				21,730	29,821	29,302	
	うち一般財源				15,041	27,700	28,499	
人件費 (千円) B					1,452	1,452	3,036	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.22		1452	0.22	1452	0.46 3036
	臨時職員 (人・千円)				0		0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	資源ごみ収集団体育成補助金については、ごみ減量の推進のため継続していく。また、生ごみ処理機補助金について、一般廃棄物処理基本計画の計画終期である令和5年度までは継続し、その後廃止する。	③取組の課題	生ごみ堆肥化事業の今後 (後継者問題等) について、NPOと協議が必要。
②R2年度に実施した取り組み	資源ごみ収集団体・生ごみ処理機購入者等への補助金の交付を行った。	④今後の改善計画	資源ごみ収集団体育成補助金については、ごみ減量の推進のため継続していく。また、生ごみ処理機補助金について、一般廃棄物処理基本計画の計画終期である令和5年度までは継続し、その後廃止する。